



2020年9月28日  
株式会社ロゼッタ  
p2p 株式会社

## 国境・言語・文書フリーの VR オフィス ～ロゼッタが VR 会社 MATRIX を設立～

株式会社ロゼッタ（本社：東京都新宿区、代表取締役：五石 順一）は p2p 株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役：中島 明紀）との間で「国境フリー、言語フリー、文書フリーの VR（仮想空間）オフィス」事業を行う合弁会社の設立について合意しました。



### ■ グローバル・ユビキタスの実現

ロゼッタは、シン・企業ミッションとして、「人類を場所・時間・言語・物理的な制約から解放する」を掲げています。AI、AR（Augmented Reality：拡張現実）、VR（Virtual Reality：仮想現実）、5G/6G/7G（高速大容量・多数同時接続通信）、4K/8K/12K（超解像映像）、映像配信ソリューション、ウェアラブルデバイス、ロボット、HA（Human Augmentation：人間拡張）等の最新テクノロジーを統合して、世界中の人々が「いつでもどこでも誰とでも言語フリーで」交流し、生活し、仕事し、人生を楽しめる「グローバル・ユビキタス」の実現を目指しています。

### ■ 株式会社 MATRIX の設立

そのための具体的な事業として、

① BtoB 分野で AI 翻訳付き展示会事業として『Event DX』

② CtoC 分野でバーチャル海外旅行事業として『Travel DX』

を行う子会社をそれぞれ設立しましたが、このたび新たに 3 番目のグローバル・ユビキタス事業として、

③ 「国境・言語・文書フリー」の『VR オフィス』事業を行う株式会社 MATRIX を設立します。

株式会社 MATRIX 設立に当たっては、音声映像配信ソリューション（WebRTC・SIP/PBX

等)を中心としたシステム開発面を担うパートナーとして、p2p 株式会社との合弁会社といたします。

p2p 株式会社については下記をご参照ください。

<https://www.rozetta.jp/download/2020090303.pdf>

## ■国境フリー・言語フリー・文書フリーの VR オフィス

VR (仮想空間) オフィスを事業化する前段階として「国境・言語・文書フリーの VR (仮想空間) オフィス」をまずは当社自体が実例となって実装と実稼働を確立させるために、10 月から本社機能を VR (仮想空間) に移転する予定にしております。

VR 本社の様子については下記をご参照ください。「国境フリー・言語フリー」のイメージがご理解いただけると幸いです。

<https://www.rozetta.jp/company/vroffice.html>

## ■VR オフィスの目的

単なるリモートワークではなく VR オフィスにする目的は、以下の 3 点です。

### 1. 国境フリー、言語フリーのグローバル・ユビキタスにする

AI 翻訳を VR オフィスのシステム内にデフォルトで組み込むことによって、どこの国から入室しようが言語が何であろうが、いちいち翻訳ソフトや通訳機を準備する手間も一切なく、自由自在にコミュニケーションできるようにします。

また、現在メールやチャットがリアルタイムでなくてもいいように、口頭で話している姿を映像と音声ごと記録することで、時差のある国の間の対面コミュニケーションも楽にします。

### 2. 議事録・報告書等、あらゆる文書を不要にする

VR オフィス内で行われるあらゆる会話、書き込まれた文字、使われた資料をすべて空間まるごとデータとして記録 (空間保存) し、キーワード検索、類似検索、概念検索等の AI を使って自由自在に場面や会話を検索できるようにします。

つまり、現状の仕事では必要とされる、議事録・報告書等の煩わしい書類作成を一切不要にします。

現状では実際の会話をまとめて文書にする時には、重要な情報が抜け落ちたり歪んだりする問題も意外に大きいですが、そういった問題も完全解決します。

### 3. リモートワークで失われたリアルコミュニケーションの効果を復活させる

リモートワークでは、自宅から通勤したり、会議のために集まることがなくなったことで効率面ではメリットがありますが、一方で、皆で集まりワイワイガヤガヤと話している間に重要な問題が分かったり、課題解決法や新しいアイデアが生まれるといった社員間のリアルなコミュニケーションから生まれる効果が消え去ったという大きなデメリットも生じています。

VR オフィスは、リモートワークの効率とリアルなコミュニケーションの効果とを両立することができます。

## ■企業ミッション

株式会社 MATRIX はまずは VR オフィス事業からスタートしますが、企業ミッションはより広く「うすのろなリアルより理想の VR を～世界から不幸と哀しみを無くす～」です。

## ■ p2p 株式会社について

p2p 株式会社は、上記のグローバル・ユビキタス実現に必要な最新テクノロジーのうち、リアルタイムでの音声映像配信ソリューション（WebRTC・SIP/PBX 等）を専門領域として、中国、インド、ロシア、アメリカ、ベトナムを中心とした世界中の高度なエンジニア・ネットワークを誇るシステム開発集団です。また、自社サービスとして、ポストコロナ時代のリモートワークのコミュニケーションを改善する VoicePing（<https://voice-ping.com/>）の運営を行っています。

代表の中島氏については、先般ロゼッタが資本業務提携を行ったドーナッツロボティクスの CEO、CTO が「他に代替の効かない最高の技術者」として全幅の信頼を置き、ロゼッタ CEO の五石も「生涯で出会った最強のエンジニア」と絶賛しております。

## ■株式会社ロゼッタについて

ロゼッタは創業以来「我が国を言語的ハンディキャップの呪縛から解放する」という企業ミッションの下に AI 自動翻訳の開発をしてきましたが、現在ではさらに構想を拡大し、AI、AR（Augmented×Reality：拡張現実）、VR（Virtual Reality：仮想現実）、5G/6G/7G（高速大容量・多数同時接続通信）、4K/8K/12K（超解像映像）、映像配信ソリューション、ウェアラブルデバイス、ロボット、HA（Human Augmentation：人間拡張）等の最新テクノロジーを統合して、世界中の人々が「いつでもどこでも誰とでも言語フリーで」交流し、生活し、仕事し、人生を楽しめる「グローバル・ユビキタス」の実現を目指しています。

URL：<https://www.rozetta.jp/>

※本件のロゼッタグループの業績への影響については、2021 年 2 月期に対しては軽微ですが、中長期的には業績向上に資するものと考えております。なお、2021 年 2 月期の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。



株式会社ロゼッタ（コード番号:6182 東証マザーズ）

所在地:東京都新宿区西新宿 6-8-1 オークタワー23F

代表取締役:五石 順一

事業内容:超高精度 AI 自動翻訳の開発、販売等

URL:<https://www.rozetta.jp>

お問合せ先

■製品・サービスに関するお問合せ

経営戦略室 : 工藤

E-mail: [c-kudo@rozetta.jp](mailto:c-kudo@rozetta.jp)

■報道に関するお問い合わせ

IR 部 : 村井

E-mail: [ir@rozetta.jp](mailto:ir@rozetta.jp)